

# 未来会議だより

令和 7 年 5 月 1 日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(TEL711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議

検索



--令和 7 年 4 月 7 日・21 日(月)--

## 8 月の盆踊りに向けて、 新年度教室がスタート

令和 7 年度の盆踊り教室が始まりました。これは、8 月 2 日、3 日に開催予定の「ひのまる公園盆踊り」を盛り上げると共に、楽しく踊りながら健康づくりをしようという栄東地区ならではの教室です。



▲楽しそうに踊る参加メンバー

30 名を超えるメンバーと講師陣 3 名が集まり、新年度の教室がスタートしました。講師の保坂先生は、太鼓や横笛も持ち込んで、盆踊りの雰囲気を高めます。いつものとおり、「子ども盆踊り」「北海盆踊り」「同よされ節」でウォーミ



ングアップし、「ソーラン節」「炭坑節」「花笠音頭」とオーソドックスな曲が続きます。

休憩後は打って変わって「YMCA」「ダンシング・クイーン」とディスコ調に変わります。最後は、「南中ソーラン」「島人ぬ宝」、そして「ultra soul」と多彩な盆踊り締めくくります。8 月の盆踊り会場で披露する変わり盆踊りの曲を決めながら、月 2 回のペースで教室が開催されます。なお、当教室は会場の都合上、当面の間は受講生の新規募集は行いません。

--令和 7 年 4 月 15(火)--

## 連町女性部・演歌体操教室 動いてハツラツ！

令和 3 年度から実施している栄東連合町内会女性部の演歌体操教室ですが、7 年度で 5 年目を迎え、前期(4 月～9 月)の教室がスタートしました。相変わらず大人気でこの日、前半、後半で 67 名の方々が参加し、定番の氷川きよし「ズンドコ節」で踊りました。軽妙な語り口の大高一郎先生の指導で、笑いながら心地よい汗を流しました。

懐かしい曲を聴きながら体操する演歌体操は、身体機能の向上・維持だけでなく楽しく続けられることが最大の特徴です。簡単な動きで筋を伸ばし、血流を良くし、軽い動きなので、参加者の身体能力や体力に合わせて無理なく体操ができます。

女性部では、こうした演歌体操教室を通じて、栄東地区の高齢者の皆さんのいきいきした健康生活



▲曲に合わせて元気な掛け声が響き渡る会場

を応援しています。なお、演歌体操教室後期(10 月～3 月)の受講生募集は 9 月頃を予定しています。

また、健康づくりの一環として、5 月 1 日(木)午前 9 時から『健康ウォーク歩こう運動』が開催されます。初回は、毎年恒例の円山公園・北海道神宮・円山動物園を散策します。申し込みは不要で、どなたでもご参加頂けます。詳しくは、未来会議ホームページ(上記の QR コードからアクセス可能)でご確認頂くか、栄東まちづくりセンター(TEL 711-2203)までお問い合わせ下さい。

--令和7年4月4日(金)--

## 栄町交差点で



## 春の交通安全街頭啓発を実施



4月6日(日)～4月15日(火)は、「春の交通安全市民総ぐるみ運動」期間です。これに先立ち、この日、地下鉄栄町駅交差点には、栄東地区の交通安全運動推進委員会、交通安全協会、交通安全母の会、連合町内会や単位町内会役員など52名が参加して、交通安全街頭啓発を実施しました。

啓発は、4月3日に新たに栄東連合町内会交通部長に就任した山田豊さんの開始の挨拶で啓発が始まりました。途中、東区役所から神賢寿・区長が

お越しになり、参加者の皆さんへの労いのお言葉を頂きました。

この日、最高気温が5℃しかなく、冷たい風も吹き荒れる中、参加した皆さんは、子どもたちや高齢者の安全を願い、交通安全旗を力強く振って通行車両や歩行者に啓発を実施していました。



▲開始の挨拶をする  
山田豊・交通部長

### 春の交通安全市民総ぐるみ運動の重点

1. こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
2. 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
3. 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
4. 飲酒運転の根絶

--令和7年4月15日(火)--

## 地域に高齢者の”通いの場”を 栄南中で短期教室がスタート



身近な地域に高齢者の”通いの場”を創ろう！そんな想いがこの日、栄南中学校で結実しました。新道栄町内会が中心になって行う高齢者の健康づくり活動です。

地域の高齢者が安心して健やかに暮らしていけることが、どの地域でも共通の課題になっています。歩いて通える範囲に、その場所を確保することが難しいのが現実です。栄東地区では、地区に5小学校、3中学校の校区があり、何とか地域の学校を活用でき

ないか模索していたところ、このほど、栄南中学校の英断で、毎月1回、同校の格技室をお借りできることになりました。

通いの場を定着させるため、介護予防センター栄・丘珠の協力で半年間は、短期教室という形でスタートします。この日は、格技室を利用するのは初めてということもあり、見学や講話、体操・脳トレというプログラムで開始しました。参加したのは、近隣の31名(スタッフを含む)の方で、「オープンを楽しみにしていました」「歩いて来れる近くに通いの場ができて嬉しいです。毎月参加します」との声もあがっていました。

高齢者の健康づくりという課題をご理解いただき、快く格技室をお貸しいただいた栄南中学校の関係者皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



▲通いの場の説明をする加藤・介護予防センター栄・丘珠センター長